

Oh!Me

オー!ミー

インターネットと連動した
【滋賀生活情報紙】

MAINICHI

新毎日
新聞日

この情報紙は「滋賀ガイド」と提携しています

滋賀ガイド www.gaido.jp

vol.497・1月9日号

毎週木曜発行

2面にプレゼント情報!

●Oh!Me編集室/株式会社ヤマプラ:近江八幡市桜宮町294 TEL0748-34-8872 FAX0748-34-8927
 ●広告/滋賀毎日広告社:大津市打出浜3-16 TEL077-522-2603 発行部数:100,000部
 ●発行/毎日新聞大阪本社開発宣伝部:大阪市北区梅田3-4-5

素敵な人

36年間、フリーカメラマンとして滋賀の重要文化財、仏像、風景などを撮り続けてきた寿福滋さん。2011年度、滋賀県文化賞を受賞した。滋賀県観光情報のホームページにある「湖国百景フォト紀行」の寿福さんの写真は息をのむほど美しく、圧倒される。

文化財、風景撮り続け36年

過去、現在、未来に人のつながり 見詰め

森さんの家に住み込み、横浜にある港北ニュータウンの広い現場に点々としている遺跡の撮影に携わった。現場の仕事を終えて帰った後も、夜遅くまで次の日の仕事の手伝いをする

こともあった。「体で覚える」「カメラマンに向いていないからやめろ」など、厳しく鍛えられたという。

森さんのもとで8年間勉強した後、30歳で故郷の大津に帰り、文化財専門のフリーカメラマンとして独立した。当時はバブル景気真っ

湖北地方の小谷城跡を撮影しているときは、城主の浅井長政や江姫が自分の横に

のような気がした。山を見ていると山の神が、湖を見ていると湖の神がいるような気がした。大自然の風景から、大きくて不思議な力を感じるようになった。

こうして遺跡、文化財、仏像などの撮影に加え、風景撮影にも力を入れ始めた。寿福さんの風景撮影に対する思いは熱い。琵琶湖の大きさを感じられる場所で朝日を撮りたいと思い立ち、沖の白石に漁船で行き1人で夜を明かしたことがある。夜は真っ暗で恐ろしかったが、



米原・清龍の滝(撮影:寿福滋)

遺跡専門の写真家目指す

子どものころから歴史や遺跡に興味があった寿福さん。高校生のとき、JR湖西線(当時国鉄)の建設工事に伴う遺跡調査で自宅周辺が発掘ラッシュとなり、発掘の現場でアルバイトをした。小さな土器を拾っただけでうれしさのあまりぞくぞくしたという。

「たとえば天智天皇の都跡。『自分が

立っている所で、天智天皇がこれを使ったかも』と想像するだけで身震いしました」

そんなとき、文化財専門のカメラマン、森昭さんと出会った。出土する文化財を見事な写真にしてい

く森さんの撮る写真からは、その時代の人の気持ちまで伝わってくるような気がした。「自分も遺跡専門の写真家になろう!」と決心し、高校を卒業後、森さんに弟子入りした。

自然から感じる大きな力

遺跡の写真を撮っているうちに、眼の前に広がる風景に大きな興味を持つようになった。



比良 蓬萊山山頂付近の石仏(撮影:寿福滋)

日の出とともに湖面がきらきらと輝き始めると、思わず手を合わせて拝んでいたという。



フリーカメラマン
文化財写真家
じゅ ふく しげる
寿福 滋さん (大津市在住) 60歳

どんな風景にも必ず人が

「住んでいた人」「眺めていた人」「使っていた人」など、風景にも遺跡にも必ず人の存在を感じるという寿福さん。

仏像を撮るときは住職や檀家の人、風景

ならそこで働き、生活している地元の人がいるように、過去・現在・未来とつながる人の歴史があるという。

このつながりへの感動が作品づくりのエネルギーなのだろう。

「将来、自分の作品を見て懐かしんでくれる人がいることを信じて止みません」

(取材・鎌山)

詳しくは
www.gaido.jp/suteki

滋賀生活情報紙「Oh!Me」はお近くの毎日新聞販売店からお届けしています。毎日新聞のご購読申し込みはフリーダイヤル 0120-468-012

金・プラチナ・銀・時計・バッグ・財布・ダイヤ・ジュエリー・金貨・銀貨・切手・商品券

質買取

買取&お預りシステム

大黒屋

瀬田駅前店

大津市一里山1-3-6-102(ヒカリ屋隣)

☎077-547-2606

営業時間 10:00~19:00

定休日 日曜日



ご家族の団らん、歓送迎会に是非お越し下さい。

●本紙持参の方にもれなく
かねよ特製珍味プレゼント!



冬の限定メニューのうすき鍋が始められました。音羽山の清水で締め薄味で白焼きにした自慢の鰻を野菜と一緒に。こだわりの手作りポン酢であつさりとお召し上がり下さい。2人前より承ります。(一人前7,200円) ※要予約 サイフス料理 飲み放題 サーフス料理 10,000円のお得なプランもございます。テイクアウトも承っております。



解禁です。
鰻のうすき鍋

日本へのうなぎ 逢坂山かねよ

本館 tel 077(524)2222 (代) <木曜定休>

レストラン部 tel 077(522)6151 <火曜定休>

※他 月1回不定休有(ご来店の際は一度ご確認ください)

営業時間 11:00~20:00(L.O.) 駐車場(50台)完備 京阪大谷駅下車

